

教育会だより No. 5

令和8年9月17日

公益社団法人諏訪教育会

会長 濱 喜一郎

より深め、より開き、より据える ～前へ みんなの未来につなげて～

＜諏訪教育会 夏の研修旬間＞

今年度は、21の研修講座が開かれ活気あふれる充実した研修が行われました。

各講座の成果等をお伝えいたします。

主催 共催	期日会場 参加者数	実施内容	参加者の声	成果と反省
教育 博物館 委員会	7月11日(土) 場所 霧ヶ峰(八島ヶ 原展望台付近) 参加者約50名 	【霧ヶ峰自然観察会】 ・霧ヶ峰八島ヶ原における植物や野鳥や生き物の観察。 ・理科委員会の先生方よりオリエンテーションと植物や野鳥の説明。 ・ウォークラリー形式による誰でも参加可能な観察会。	・見つけた植物や生き物にシールを貼ることができて楽しかった。また、ビンゴがそろそろと景品がもらえてうれしかった。 ・先生たちの説明が分かりやすく、楽しむことができた。 ・散策前に説明をしてもらったことで、霧ヶ峰の特徴や成り立ちなどがよく分かった。そこからの散策だったので、余計に勉強になった。	・昨年度に引き続きウォークラリー形式で行ったが、参加者が自分のペースで散策でき、非常に好評だった。 ・植物のビンゴをそろえるという内容が参加した子どもたちの意欲につながり、率先して植物や野鳥などの生き物を探す姿が見られた。
図工 美術 委員会	7月25日(土) 会場 諏訪教育会館 参加者 28名 	○親子造形遊びワークショップ「つまんで つなげて せんたくバサミ」 ・児童を対象にした造形遊びワークショップ ・保護者の方への「材料をもとにした造形遊び」への周知と理解 ・教職員の造形遊びの研修	・他の人の作品を見てかごを使って作品を作ったり、並べたりするだけでも作品になることを発見してとても楽しく作ることができました。(児童) ・子どもたちが多くの人の色々な考え方ややり方に触れる機会となり、一つの考え方に固まらず頭を柔らかく使うよい経験となりました。今後も創造力や発想力が伸びるようなワークショップが続くことを期待しています。(保護者) ・発想の多様さ、ユニークさが求められる現代社会、コンピュータやAIがさかんに語られる今、こうしたアナログ的な活動は人間性を磨くには絶対必要だと思います。(保護者)	・今回はせんたくバサミを造形遊びの素材として造形遊びを行った。素材的にも低学年から高学年まで発達段階に応じた造形活動ができたと思われる。今後、貸し出し素材として各学校に利用を広めていきたい。
情報 教育 委員会	7月25日(土) 会場 湖南小学校 参加者 17名 	「夢のゲーム機」を作ろうワークショップ ＜講師＞梅木 翼 先生 一般社団法人 たよなん	・普段役割を決めてのものづくりの体験はできないので、子どもにとって、とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。 ・こんなに本格的な企業のプロセスを経験できるものとは思っていませんでした。同じメンバーでもう一度でもできたらもっと詰めた話ができるかもしれないと思いましたが、その第一歩を経験者させて頂き感謝しています。	・毎年、多くの参加申し込みがあり好評な講習会である。今年度も保護者の見学者が多かった。ゲームに関して子どもだけでなく親も関心があることがわかる。

主催 共催	期日会場 参加者数	実施内容	参加者の声	成果と反省
諏訪 美術 教育 研究会	7月26日(日) 会場 諏訪教育会館 大会議室 参加者 154名	「すわび こども ミュージアム DAY」 ①ハケ岳美術館 「山のコラージュペンケース」 ②茅野市美術館 「とびっきりの山をつくろう！」 ③諏訪市美術館 「型紙で遊ぼう」 ④諏訪市博物館 「自分だけの絵巻物をつくろう！」 ⑤原田泰治美術館 「水に絵を描く！？ マーブリング体験」 ・児童を対象とした造形活 動の楽しさ、面白さを感じ るワークショップ ・美術館・博物館との連携の 方法のあり方の研究 ・素材や題材等の研究	・各美術館が一堂に会して開催さ れるワークショップは、各活動 を鑑賞したり、感想を聞き合っ たりできて、得るものが大き く、お徳感があると思いまし た。(教員) ・それぞれの美術館で考え、特色 があるものができたのではない かと思いました。子どもたち はやはりすごい。思いもよらな い発想で作品を創造すること を改めて実感しました。 (美術館) ・毎年参加させていただいてま す。今年は素敵なペンケースを 作成する事が出来ました。あり がとうございました。(保護者) ・マーブリングする時に色を混ぜ たらハートになってかわいく キレイにできたのがうれしか ったです。美術館に展示する方 も、かわいくいろいろな形に切 れて良かったです。とても楽し かったです。(児童)	・今回で4回目の諏訪地域の 美術・博物館との連携の 企画で、各施設の特色を生 かしたワークショップを 行うことができた。今後も この連携を大事にしてい きたい。今年度は5館に協 力いただきワークショップ のブースを出すことが できた。 ・制作時間が1時間程の時 間内で作品が完成できる よう各館のブースで工夫 いただき、親子で楽しみ参 加者が作品を持ち帰るこ とができてよかった。 ・各館のワークショップの 作品や作り方を見ると、授 業でも活用できる素材や 方法のヒントが得られ参 考になった。教職員の研 修の側面としてもいいワ ークショップとなった。
諏訪 理科 研究会	7月29日(水) 場所: ハケ岳 ジョウゴ沢 参加者 12名	・美濃戸山荘～赤岳鉱泉～ (赤岩の頭に向かうコース) ～ジョウゴ沢四の滝 までのおよそ 12kmを 歩き、夏の高山植物を中 心に観察し、その周辺の 地質の話を聞いたりした。 <講師> 城南小学校 白鳥 保美先生 諏訪教育会 自然研究部の先生方	・毎年楽しみにしている「諏訪の 自然学」の研修、自分だけでは 普段足を踏み入れることのな いジョウゴ沢をたどり、希少種 や絶滅危惧種といわれる植物 を教えてくださいながら学ぶ ことができ、とても充実した一 日となりました。ヤツガタケ キンボウゲ、ヤツガタケアザミな ど、「ヤツガタケ」が付く植物 があることも知りました。ハケ 岳、奥深く、植物の豊かさだけ でなく、噴火の名残、地形的な おもしろさなど、さらに興味が 広がりました。ありがとうございました。	・下見の際に、四の滝付近で ハケ岳の固有種であるヤ ツガタケキンボウゲが保 護されているポイントを見 つけ、花を確認できた が、当日は花が終わってい て残念だった。しかし、シ ダ類のヒメハナワラビと いう希少種を確認するこ とができた。 ・天気にも恵まれ、周りの山 々の様子、滝では水滴が激 しくぶつかって細かく砕 けるときに発生するマイ ナスイオンを感じるこ とができ、美しい自然と空 気にふれ、充実した研修会 となった。
教養 委員会	7月28日(火) 会場 諏訪教育会館 参加者数 20名	・初めての方から、リピー ターとして難しい作品作り に挑戦される方も安心して 楽しめる講習。はさみを 使った作品も教わるこ とができ、小学生など誰 でも気軽に安心して参加 できる。 ・ペーパークラフト、切り絵 といった学校の授業にも 生かせる講習会。 ・教職員自らがものづく りの楽しさや難しさを 体験することで、図工 や美術の指導に生かす。 <講師> 鈴木 清先生 元富士見高原中学校長	・子どもとともに参加させていた だきました。子どもはカッター を使ったことがなかったので 心配でしたが、はさみも使い、 本人が楽しく大満足なものが 作れたようです。 ・支援級の販売活動に生かせるア イディアを学ぼうと思って参 加しました。色々なヒントをい ただきました。 ・心が落ち着くひと時でした。作 品を作り上げることができ達 成感を味わえました。教室や職 員室におけるサイズ感で話の タネになります。	・鈴木先生に教わるのは今 回で15回目。繰り返し参 加される方は、上級者向け にトライするなど、講習会 を楽しみにしている様子 が伺えた。 ・製作時間がたっぷりあ ったので、参加された先生方 が個々に鈴木先生に質問 されていた。2学期以降の 教材研究の参考にされて いる様子がありうれしく 感じた。

主催 共催	期日会場 参加者数	実施内容	参加者の声	成果と反省
体育・ 保健 体育 委員会	7月30日(木) 会場 富士見中学校 参加者数62名	・小学校「表現」「運動会の表現や」中学校「ダンス」につながる基本的なこと。 ・ヒップホップダンスの基本(ダウンのリズム、アップのリズムなど) <講師> Shino 先生、そうすけ先生 (BEACH HOUSE)	・とても難しく面白かった。子どもにとっても難しいものであると再確認できた。 ・本格的なヒップホップを体験して、専門性のない領域の指導の難しさを感じたとともに、楽しいダンスの時間であったと感じる。恥ずかしいより、チャレンジできる。そんな授業展開を心がけていきたいと感じた。 ・楽しくリズムに乗って踊ることができました。子どもたちにも楽しさを感じてもらえるようにしてみたいと思います。	・振り付けでは、児童や生徒も視聴している動画を選んでいただき、その振付をわかりやすい言葉と見本で教えていただくことができた。ダンス作りや指導に直結していて、体育の授業や運動会の表現にすぐに使える内容となっていてとても良かった。 ・ダンスの授業づくりや運動会等で、地域のダンススクールさんと学校との連携の可能性はある。
登山の 桒 委員会	8月3日(月) 目的地 ハケ岳 白駒池周辺 参加者8名	・初任者、諏訪へ初めて来た先生方、登山の経験がなく次年度登山学年になる先生方などを対象として登山研修会を実施し、登山の桒「ハケ岳」を紹介しながら、ハケ岳や登山の魅力を発信した。	・小さい子がいることから普段は短い距離をトレッキングする程度しかできないが、久しぶりに本格的な登山を経験できて楽しかった。 ・今年度初めて諏訪に来て、登山に興味があったので、ハケ岳を自分の足で歩くことができてよかった。	・中学校で日帰り登山が増えていることや、もっと気軽にハケ岳を楽しんでほしいという思いから、距離が短く高低差が小さい白駒池周辺の山々を選び、無理なく参加してもらうことができた。
諏訪 学校 体育研 究会	7月28日(火) 会場: 富士見パノラマ リゾート 参加者17名	【パラグライダー研修】 ・パラグライダーの体験	・子どもと一緒に参加しましたが、子どもも楽しめて良かったです。来年度以降の研修も楽しみにしています。 ・今年はパラグライダー、去年はクライミング、一昨年はカヤック、その前はボート、その前はマウンテンバイクと、研修の内容が毎年異なり、楽しみにしています。ウィンタースポーツの研修があれば参加してみたいです。	・パラグライダー研修では普段できない活動を同好会の仲間と楽しみながら行うことできた。
諏訪 書道 研究会	7月31日(金) 会場 諏訪教育会館 参加者数 8名	・楷書、行書、草書、かなの練習 ・小学校3年生への指導方法 ・初心者から上級まで、段階に応じた研修 ・子どもの作品研究 ・のし袋等への名前の書き方等 <講師>平林 圭治 先生 (元茅野美術館館長 元永明小学校長)	・外は暑いですが、涼しい室内で集中して字と向き合うことができて、大変贅沢な時間を過ごすことができました。平林先生のご丁寧な指導で、少しずつ自分の書く字が変わっていくことを感じ楽しめました。初めての参加でしたが、来てみて良かったです。 ・夏休み明けに授業をする書写の教材を、自分でも書いてみることで、指導のポイントが実感できました。さらに、教えていただけることで自信をもって範書もできるなと感じることができました。	・郡外からも諏訪の学校にいた先生が来てくださった。実践的な研修の場として有効なので、もっと多くの先生方が参加して下さると良いと思う。 ・小中高の書写の教科書があるので、有効に使っていただけた。 ・途中参加退席も良いので、気楽に参加して下さった。

主催 共催	期日会場 参加者数	実施内容	参加者の声	成果と反省
諏訪 こども の本 研究会	8月1日(土) 会場 塩尻市立図書館(えんぱーく内) 参加者数2名	①館員の方による施設・取組についての説明 ②館内見学 (館員の方の案内) ③館内自由見学 *原画等の展示見学含む ・絵本「あける」(はらぺこめがね)原画 ・写真絵本「森のふしぎをさがしに」(星野秀樹)写真 ④絵本作家ユニット「はらぺこめがね」ギャラリートーク参加	・主に学校との連携と子どもや教職員を本とつなぐための取組について、質疑応答を交えて伺った。お話の内容から、人的環境や物的環境を整え、図書館側から積極的に学校現場とつながりを作っている様子や、啓蒙活動・人材育成にも力を入れている様子がうかがえて、学ぶところが多かった。 ・学校図書館は、日本十進分類法の基本を理解したり、利用指導の入門期にあたるため、分類ごとの館内配置を大きく変えたり、別置を多用したりすることはなかなか難しいが、柔軟で多彩な館内レイアウトは、とても参考になった。 ・作家本人による読み聞かせは、言葉の発し方がとても自然で、「読む」のではなく、ご本人が普通に話しているかのようなだった。贅沢な時間を過ごさせていただいた。	・今年度は、教育研究集会の後が、教育課程の研修会になったため、昨年度のような同日研修ではなく、ギャラリートークの開催日に合わせて、8月1日(土)に設定した。また、近年は郡内での研修が多かったが、他市町村の取組から新しい刺激を得たいと考え、塩尻市立図書館の見学も組み込み、非常に充実した内容になった。
諏訪 道徳教育学会	8月3日(月) 会場 茅野市立北部中学校 参加者数15名	・道徳の授業で抱える悩みや不安を出しあい、解決に向けて考えあった。 ・道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、発問について考えあった。 ・評価や特に配慮を要する生徒への対応(視覚的な教材への工夫)について考えた。 ＜講師＞矢島和明校長先生(下諏訪中学校)	・「足袋の季節」を題材に授業展開を考えあい、中学校の道徳の資料、そのものに驚きました。小学生から中学生へ発達に応じた指導への工夫も参考になりました。 ・議論が盛り上がらないことや対話が続かないことについて悩みを抱えていました。また、発言が単発で終わり、子ども同士の話が深まらないことも課題でした。しかし、「子どもの実態に合わせた授業づくり」という中で、時間や子どもの反応の中での授業の進め方を聞いて、少し気持ちがほっとしました。	・日々の授業実践を持ち寄り、皆で語り合えたことはよかった。 
教職員 バスケット ボール 委員会	8月3日(月) 会場 諏訪南中学校体育館 参加者数25名 	・審判担当の先生方のための審判講習(実践講習) ・初心者の方の先生向けの技術講習 講師 柳澤貴史先生(長峰中学校) 北條健吾先生(諏訪西中学校)	・審判が不安だったが、教えて貰いながら審判をすることができて良かった。他の学校の先生方とも交流ができたので良い機会になった。来年も続けて欲しい。 ・私は初心者講習として参加した。講師の北條先生の丁寧な指導のおかげで講習を受ける以前よりはバスケの技術を向上させることができた。また、経験者の先生方とともにプレーをする中で、チームとしてプレーすることの楽しさを感じることもできた。	・初心者の方の方向けの技術講習では、ケガをしないための姿勢づくりから基本的なことをいねいに、講師から教えていただいたことが、とても好評だった。もっと気軽に多くの先生に参加してもらうために、今回参加された方の声をしっかり広げていきたい。 ・審判講習会だったが、当日審判をされる方の参加が少なかったため、各校で主将の方にしっかり呼びかけをしてもらう必要があると感じた。

主催 共催	期日会場 参加者数	実施内容	参加者の声	成果と反省
道元と 教育 実践を 語る会	8月6日(木) 会場:瑞雲寺 (富士見町) 参加者 8名 	・「正法眼蔵随聞記」の読み合わせ ・「坐禅とは」の講演 <講師> 瑞雲寺住職 根田泰聖 先生 ・坐禅	・読み合わせをもとにして先生方の教育に対する日頃の思いをお聞きでき良かった。清水先生から「子どもに教えてやろうと思っではないか。子どもから学べばいい。35 人の子どもがいれば、35 通りの生活をランドセルの中に背負って学校へ来ているのだ。遊びこそ学習であると思って子どもを良く見るようにしたい」とお話があったが、その通りだと思った。子どもを良く見ていきたい。	・参加者は 8 名であったが、先輩の先生方にもご参加いただき、たいへん充実した研修会になった。 ・お寺のご住職にお話を伺う機会はありませんので、とても貴重であった。坐禅もよい研修となった。 ・会場をお寺に設定することで、普段とは違う雰囲気味わうことができた。
諏訪 哲学会	7 月 25 日(土) 会場:法華寺 (諏訪市) 参加者 5 名 	・哲学書 山田晶訳 アウグスティヌス『告白Ⅲ』の読み合わせ	・暑い中、法華寺の庫裡において静かで、涼しい場所で研修ができてよかった。 ・幅広く声をかけることで、久しぶりに参加された会員がおりよかった。 ・哲学書の読み合わせの内容が深められ、12 月の哲学講演会に向けてよい足がかりとなった。	・法華寺の都合により本堂が使用できなくなったので、予定されていた坐禅は行わずに庫裡で読み合わせ会を中心に行った。来年度は坐禅を入れた研修にしていきたい。
【共催】 家庭・技 術 家庭 委員会 諏訪技 術・家庭 科教育 研究会	8月5日(水) 会場:富士見町 井戸尻考古館 参加者 14名 	・五感で味わう、食の原点 黒曜石と土器でつくる地域の恵みと縄文ごはん <講師>三上 奈緒 先生	・人が集まり、手を使い、知恵を出し合わなければ何一つ成り立たないことを目の当たりにし、人間が集団社会を形成した背景や、コミュニケーションの必要性を強く感じました。 ・画面上での知識だけでなく、五感を通して体験することの重要性を改めて実感しました。「まずやってみて、自分で考える」ことの達成感を知り、今後の子どもたちへの声掛けや授業に生かしていきたいと思います。	・参加者が不都合な環境の中でも楽しみながら調理を行い、協力して火をつける過程などを通して、周りが便利になっている分、現代人が本質的な部分で退化しているのではないかと感じる機会を提供できた。 ・今後は、縄文人がしていた「考えて動いてみる」という姿勢を我々も実践し、参加した教員が今回得た学びを子どもたちへどのようにつなげていくかが期待される。
諏訪 史談会	8 月 7 日(金) 山梨県 甲斐市・南アル プス市・富士川 町・身延町 参加者 25 名	史跡踏査 「山梨歴史探訪」 ○信玄堤公園 ○枅形堤防 ○鰍沢河岸跡 ○國本屋 ○富士川町歴史文化館 塩の華 ○本能寺 ○甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 ○道の駅富士川	・近隣の史跡踏査で、見学時間が十分とれた。 ・参加者同士で学びあうこともできてよかった。 ・かつて行った信玄堤の整備状況に驚いた。 ・地域の方々の歴史・史跡に対する熱い思いに触れることができてよかった。	・高島藩の年貢米が、富士川舟運によって江戸に運ばれたことのメリット、舟運がもたらした塩や海藻(寒天の原料)、船頭の工夫や苦労、舟運の隆盛と衰退などについて、多くのことを学びました。

主催 共催	期日会場 参加者数	実施内容	参加者の声	成果と反省
【共催】 諏訪 算数 数学 教育 研究会 算数 数学 委員会	8月6日(木) 8月7日(金) 2日間開催 会場 諏訪教育会館 参加者 33名	①研修Ⅰ 南信三郡大会に向けた模擬 授業による授業づくり研修 (中学校1年「平面図形」) ②研修Ⅱ 県大会レポート検討 ③研修Ⅲ 南信三郡大会に向けた指導 案をもとにした授業づくり 研修(小学校5年「平均」) ④研修Ⅳ 委員会実証授業に向けた模 擬授業による授業づくり研 修(中学校2年「箱ひげ図」) ⑤研修Ⅴ 講演会(河野麻沙美先生) 「これからの算数・数学教育の あり方～算数のよさと数学的マ インド～」 	・AIの提案を批判的にとらえ、正解を出してもらうのではなく、参考にしながら自分で考える必要があることを理解した上で使えば、個々の支援に有効だと感じました。AIを使いこなせる人を育てることが必要ですね。【研修Ⅰ】 ・算数を使って学級づくりをという思いがあふれていて、とても素敵な提案でした。子どもによる司会はどのように行われているのか、思考を深めたいときの教師の出と葛藤など、やってみたらこそ分かることを知りたくなりました。【研修Ⅱ】 ・日常生活からの数学化の思いが素敵です。「平均だと手軽にそこそこの値がわかるね」くらいに、おおらかに受け止めてもらえばよいのかなと感じます。先生が子どもたちを大切に日頃から授業をしていることが伝わりました。【研修Ⅲ】	・参加された先生方一人ひとりが課題意識をもち、「訊くこと」を大切に取り組む姿が、どの研修からも感じられた。参加者の意識が、研修の質を高めることを改めて実感した。 ・各種公開授業では、授業者の先生方が若い感性を生かし、迷いや試行錯誤の中での挑戦を前向きに提案してくださった。ベテランの先生方の視点からの意見や、新しい時代の算数・数学を見据えた検討など、多様な考えが融合する有意義な時間となった。提案者の先生方を温かな雰囲気で見守ることができたこともよかった。
幼年 教育 委員会	8月6日(木) 会場 岡谷蚕糸博物館 参加者 16名	「地域の学習素材を知ろう」～見て、触れて、作ってみよう～ ・館内の見学 ・蚕糸業のあゆみや繭、絹にまつわる学習 ・繭工作の体験～繭のコサージュづくり～ 館内ガイド：倉科由美さん 工作指導：宮崎梨沙さん 	・岡谷・諏訪地域の蚕糸業の歴史や、現在も稼働する機械の進化、さらにシルクが靴や帽子など多様な製品に使われていたことを知り、非常に勉強になった。 ・実際に生糸を取る様子を見学したり、繭や生糸の独特な香りや感触を直接感じたりすることで、本物ならではの魅力を肌で感じる事ができた。 ・博物館の方の説明がわかりやすく、子どもたちも興味深く学べるのではないかなと思った。地元の伝統産業や魅力を子どもたちにも伝えたり一緒に見学に来たりして、学習に生かしていきたいと感じた。 ・繭工作の技法を学べたので、園や学校の行事や日常の保育・学習に取り入れられるのではないかなと思った。	・岡谷市では馴染みのある博物館や教材であるが、6市町村の保育士や教員が集まる会だったので、近隣の園・校が扱っている題材について学べる良い機会となった。岡谷市の先生方から、「こんな風に教材化している。」というような具体的な話も聞けて参考になった。 ・蚕糸業や繭は、園でも学校でもどの年代でもどの教科でも広く扱える教材である。幼年教育委員会という幅広い年齢層を扱う委員会において、それぞれにこの先の教材化のヒントとなった。

主催 共催	期日会場 参加者数	実施内容	参加者の声	成果と反省
諏訪 社会科 教育 研究会	8月5日(水) 場所:岡谷市内 参加者 午前:20名 午後:16名	○午前の部: 岡谷市川岸地区で臨地研修を行った。 ①明日果ベリーヒル ②片倉兼太郎生家 ③武井養殖場 ○午後の部 (岡谷北部中学校) 小学校と中学校に分かれ授業構想検討会を行った。	・歴史、産業、防災と、川岸地区の魅力と可能性を再発見できた。さらに教材研究を重ね、ぜひ授業化してみたい。 ・どの方も地域のことを思い、願いを持って活動されており、共感する部分がたくさんあった。子どもたちにも追体験させたい。 ・これまで諏訪社研が大切にしてきた、子どもたちが地域のひと・もの・ことから学ぶ授業づくりを改めて大切にしたい。	・臨地研修も授業構想検討会も、先輩の先生方からこれまでの実践を学ぶことのできる貴重な機会になっている。今後も横だけでなく縦の結び付きを大切にしたい。 ・今年度は研究会の加入者が増え、研修会にも若い先生や女性の先生方が多く参加してくれた。
【共催】 生活科 委員会 諏訪 生活 総合 研究会	8月7日(金) 会場 諏訪教育会館 参加者 15名 	・段ボール織機を使って、簡単な織物体験 ・諏訪地域で織り体験ができる施設紹介	・初めて織り物をやってみた。段ボールでもできるのは手軽でよい。 ・やり始めると時間を忘れて黙々とやってしまい、いい時間を過ごした。 ・糸の種類を変えたらどうなるかな、大きさを変えたらどんなものができるかな、素材研究が楽しそう。 ・もの作りにもつながり、色々と工夫ができそう。 ・糸だけでなく、裂織りでも楽しめそう。	・今年度も生活科教育委員会と共催で行った。来年度も同じように共催で行えるとよい。 ・今後も地域素材や、地域に関わることなどを材として、研修できる機会としていきたい。

以上、各研修会の研修の様子をお伝えしました。各研修会に多くの先生方が積極的に参加し、学び合いました。

また、参加者の声から、各研修講座で充実した研修が行われたことが伝わってきました。

諏訪教育会夏の研修旬間の研修について計画・実施・報告をしていただきました事務局担当者みなさん、ありがとうございました。